

2026年度 長岡大学シラバス

授業科目名	英語ⅡA (English 2A)					担当教員	池 優子 (イケ ユウコ)	
2020-23年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型AL/ 資格対応科目
	2011-0-21-012	教養科目	必修	2単位	2年次	通年		
2024-26年度 入学者(24K-26K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型AL/ 資格対応科目
	2411-0-21-010	教養科目	必修	2単位	2年次	通年		

① 授業のねらい・概要					
今までインプットしてきた英語の知識を、テキストを使って、主にプレゼンテーションでアウトプットしていく。世界の様々な国々とその民族、言語、文化、自然などを調べて発表をしていくことで、学生が相互に気付きを得、また異文化理解を深めていくことを目指す。					
② ディプロマ・ポリシーとの関連					
コミュニケーション能力を育成する授業である。					
③ 授業の進め方・指示事項					
本授業は、テキストに提示される世界をテーマにした課題について学生が主体的に選び、調べ、相互にシェアすることで、今までに得た英語の単語や文法の知識を運用することに重きを置く。インターネットを利用してのリサーチ、テキストに沿った年4回のプレゼンテーションを準備し発表し、それを評価する。TOEIC対応。					
④ 関連科目・履修しておくべき科目と履修に望ましい予備知識・技能					
英語Ⅰ・TOEIC					
⑤ テキスト(教科書)※授業で使用する。					
松井夏津紀 他 「Guess What?!」南雲堂					
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。					
⑦ 担当教員からのメッセージ(昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)					
アンケートによると、学生が主体的に学習するスタイルでの授業やプレゼンテーションを通して、自分ができたことが達成感や自信につながっているようである。学生が相互に影響し合い、気付きを得ている。					
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安					
(1) 語彙力：各ユニットの進出単語や重要イディオムの意味を知っていて使うことができる (2) 異文化理解：400字程度の英文を読み、内容を理解してうえで自分の感想が持てる (3) 表現力：自分の感想を英作文したり、プレゼンテーションで他者へ伝えることができる					
⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(1) 語彙力	英単語の意味を理解し、関連する単語も知っていて、それらを使って英文を読むことができる。	英単語の意味を概ね理解し、1文につき1つ程度のミスで英文を読むことができる。	英単語の意味をだいたい理解し、英文を読んで概要がわかる。	英単語の意味は覚えていて、英文のところどころは理解できる。	言葉の意味を覚えられず、英文を読むことができない。
(2) 異文化理解	課題の意味を理解し、リサーチした内容に対する的確な自分の意見を英語で書くことができる。	課題の意味を理解し、リサーチした内容に対する自分の意見を概ね英語で書くことができる。	課題の意味を理解し、自分の意見が持てる。	課題の意味を概ね理解し、他者の意見を参考にしながら、自分の感想を持てる。	課題の意味を概ね理解できず、他者の意見を参考にしても自分の感想を持ってない。
(3) 表現力	内容に合った画像資料を用意し、聞き取りやすいスピードで発表、質疑応答ができる。	画像資料を用意し、原稿を見ながら聞き取りやすいスピードで発表、質疑応答ができる。	画像資料を用意し、原稿を読み、日本語でなら質疑応答はできる。	的確な画像資料を用意できず、原稿を読み、質疑応答はできない。	内容に合った画像資料を用意できず、発表が聞き取れず、質疑応答ができない。

⑩ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 取組姿勢・意欲	その他	合計	
総合評価割合	60%	20%		15%	5%		100%	
(1) 語彙力	30%	20%					50%	
(2) 異文化理解	30%						30%	
(3) 表現力				15%	5%		20%	
評価項目「その他」詳細								
フィードバックの方法	小テストは返却時解説、プレゼンテーションは評価表からの指導							
⑪ 授業計画と学習課題								
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）						
1	オリエンテーション・自己紹介ワーク・英語力確認	英語 I の復習						90 分
2	世界の国々・世界遺産・異文化理解	テキスト p.11 Words and Phrases 予習						90 分
3	Unit 1	テキスト p.17 Words and Phrases 予習						90 分
4	Unit 2	単語プリント（配布）予習						90 分
5	Unit 3	テキスト p.23 Words and Phrases 予習						90 分
6	プレゼンテーション準備	プレゼンテーションの原稿を仕上げる						90 分
7	プレゼンテーション・ディスカッション	テキスト p.29 Words and Phrases 予習						90 分
8	Unit 4	テキスト p.35 Words and Phrases 予習						90 分
9	Unit 5	単語プリント（配布）予習						90 分
10	Unit 6	テキスト p.41 Words and Phrases 予習						90 分
11	プレゼンテーション準備	プレゼンテーションの原稿を仕上げる						90 分
12	プレゼンテーション・ディスカッション	TOEIC 練習						90 分
13	TOEIC	テキスト p.47 Words and Phrases 予習						90 分
14	Unit 7	前期の復習						90 分
15	前期のまとめ	前期の復習						90 分
16	Summer Vacation ・Unit 8	作文を仕上げる						90 分
17	Unit 9	テキスト p.53 Words and Phrases 予習						90 分
18	Unit 10	単語プリント（配布）予習						90 分
19	Unit 11	テキスト p.59 Words and Phrases 予習						90 分
20	プレゼンテーション準備	プレゼンテーションの原稿を仕上げる						90 分
21	プレゼンテーション・ディスカッション	テキスト p.65 Words and Phrases 予習						90 分
22	Unit 12	テキスト p.71 Words and Phrases 予習						90 分
23	Unit 13	テキスト p.77 Words and Phrases 予習						90 分
24	Unit 14	テキスト p.83 Words and Phrases 予習						90 分
25	Unit 15	テキスト p.89 Words and Phrases 予習						90 分

26	プレゼンテーション準備	プレゼンテーションの原稿を仕上げる	90分
27	プレゼンテーション・ディスカッション①	プレゼンテーションの原稿を仕上げる	90分
28	プレゼンテーション・ディスカッション②	テキスト p. 95 Words and Phrases 予習	90分
29	異文化理解ワーク	知らない単語を調べる	90分
30	後期のまとめ	後期の復習	90分
⑫ アクティブラーニングについて			
知識定着・確認型ALを採用する。課題の選択肢から学生が主体的に課題を選び、調べ、まとめてグループワークやディスカッションをする。まとめたものをプレゼンテーションにてシェアをする。			

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性